

# 『和歌山県データ利活用推進センター事業実施計画』の概要

## 基本方針

- I 「和歌山県データ利活用推進プラン」（令和3年4月）において設定された5項目の基本目標を達成するための事業を実施する
  - (1) 日本のデータ利活用拠点の構築
  - (2) 統計的思考・エビデンスに基づく行政の推進
  - (3) データ利活用による県内産業の活性化
  - (4) データを利活用した健康寿命の延伸と健康経営の推進
  - (5) 県民の統計リテラシー向上
- II 「政府関係機関の地方移転」の取組により和歌山県に設置された「統計データ利活用センター」が与えられたミッションを達成できるよう、連携・支援していく
- III 計画期間は2021（令和3）年度から5年間

## 担うべき役割

- ①証拠に基づく政策立案「EBPM」を推進するための【分析・研究拠点】
- ②データ利活用の重要性・有用性を発信するための【情報発信拠点】
- ③未来を担うデータ利活用人材を育成するための【人材育成拠点】
- ④統計データ利活用センターの活性化を図るための【連携・支援拠点】

## 達成すべき目標



## 具体的な取組

### ①分析・研究拠点

- ▶ 行政課題の解決に資する先進的な分析・研究
- ▶ 統計データ利活用センターとの共同研究
- ▶ 分析・研究基盤の構築
- ▶ データを利活用した公募型研究

### ③人材育成拠点

- ▶ データ利活用コンペティションの開催（再掲）
- ▶ 県内の高校生・大学生等における人材育成支援
- ▶ インターシップの受入
- ▶ 行政及び民間企業の職員研修の実施

### ②情報発信拠点

- ▶ データ利活用シンポジウムの開催
- ▶ データ利活用コンペティションの開催
- ▶ ホームページ・アーカイブ等による情報発信
- ▶ 国際学会等での発表

### ④連携・支援拠点

- ▶ 統計データ利活用センターとの連携
- ▶ データを利活用した企業支援
- ▶ 会議室・コンサルティングルームの維持・管理

## 最終目標

## 日本のデータ利活用拠点としての役割を果たす

## 分析・研究拠点

## ■データを利活用した分析・研究

必達  
研究数  
10件

チャレンジ  
研究数  
15件

## ■県内市町村におけるデータ利活用に関する取組・事例

必達  
市町村数  
5件

チャレンジ  
事例数  
5件

## 連携・支援拠点

## ■国利活用センターとの連携

必達  
案件数  
20件

チャレンジ  
案件数  
25件

## ■企業からのデータ利活用相談

必達  
相談件数  
50件

チャレンジ  
相談企業数  
10件

## 人材育成拠点

## ■データ利活用コンペティション

必達  
応募件数  
75件/回

チャレンジ  
応募校数  
35校/回

## ■高校生以上向け講座

必達  
開催回数  
5回

チャレンジ  
参加人数  
150人

## ■自治体職員向けEBPM関連研修

必達  
開催回数  
10回

チャレンジ  
参加人数  
550人

## 情報発信拠点

## ■シンポジウム・セミナーの開催

必達  
開催回数  
5件

チャレンジ  
参加人数  
15件

## ■統計データ利活用表彰（※）

必達  
応募数  
10件

チャレンジ  
受賞数  
1件

## ■論文投稿件数

必達  
国内  
1件

チャレンジ  
国際  
1件